

Book Review

評者：後藤順子 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科教授

数式不要！ はめ込み統計学 EZRでできる保健医療統計これだけ

著：加藤丈夫／発行：医学書院

定価：2860円（本体2600円＋税10％）



看護学生に薦めたい無料統計ソフト「EZR」の解説書

本書を最初に手に取ったとき、保健医療統計学のテキストとして、また卒業研究の参考書として使えると感じました。

学生時代に統計学の解析手法を身につけておくことは、卒業後の看護の評価やエビデンスの確保において役に立ちます。私は「保健統計学」の授業で、統計の基礎に加え、統計を今後の保健医療活動にどのように活用するかを教えています。市町村や医療の現場ではパソコンに統計ソフトがあるところは少ないため、Microsoft Excelでできる範囲のことを演習として取り入れてきました。Excelの演習では学生の技術的差が大きく、なかなか統計学を駆使した分析まで行きません。

一方で、本書で紹介されている無料統計ソフトの「EZR」は、10年くらい前から医学部の教育で活用されていると聞いていましたが、看護教育で参考にできそうな書籍はほとんどなく、教育のなかに取り込めずにいました。本書を手に取り、EZRを操作したところ、数式を考えなくとも、簡単に統計的処理ができました。

EZRをダウンロードしておけば、卒業後も職場や自宅でデータを分析することが可能です。卒業研究では、アンケート調査を実施する学生も多くいます。教員が使用している統計ソフトでアンケートを分析させると、すべての項目を変数に入れ、「有意差が出ました」と

持ってきます。EZRでは、このようなレディネスの学生でも統計分析を行うことができ、非常に有用といえます。

また、医療機関の現場では新人に看護研究が課されることも多くあります。本書の記述に従って分析を進めれば、研究目的に沿った結果を導き出すことが可能です。記述統計から多変量解析、そして生存期間の分析に至るまで、より高度な解析ができます。

保健師活動の現場では「高齢者の保健事業と介護予防の一体化」の事業が始まり、多方面からのデータの分析と地域の健康課題の抽出を医療の専門職（保健師）が担うことになりました。また、データヘルズ関係の事業では、評価が求められています。評価の多くは受診率などのアウトプットの提示が多く、本来の事業の効果を判定するアウトカムの評価はほとんど出てきません。その理由は自治体の現場ですぐ活用できる統計ソフトがないこと、学生時代には学習したはずの保健医療統計学が活かされていないことだと感じます。

本書は特に、保健師活動の現場で遭遇するような例題が多いので、分析の視点や方法が明確であり、使いやすいです。本書は、きっと現場の良き参考書になります。